簿記３級の**無料テキスト＆問題集**の入手方法はこちら→

【日商簿記検定3級】クレジット売掛金　仕訳問題

1. 当社は、商品¥300,000をクレジット払いの条件で顧客に販売した。信販会社への手数料は販売代金の3%であり、販売時に計上する。この取引の仕訳を示しなさい。

2. クレジット払いの条件で販売した商品の代金について、信販会社から、手数料（販売時に計上済み）を差し引いた¥291,000が当社の普通預金口座に振り込まれた。この取引の仕訳を示しなさい。

3. 当社は、商品¥250,000を顧客に販売した。代金のうち¥50,000は現金で受け取り、残額は顧客のクレジットカードで決済された。信販会社への手数料はクレジット払いの金額の2%であり、販売時に計上する。この取引の仕訳を示しなさい。

4. 当社は、店頭で商品¥60,000を顧客に販売し、代金は顧客のスマートフォンによるQRコード決済で支払われた。代金は後日、決済事業者から当社の普通預金口座に入金される。決済事業者への手数料は販売代金の3%であり、販売時に計上する。なお、手数料にかかる消費税は考慮しないこと。この取引の仕訳を示しなさい。

5. 次の一連の取引について、それぞれ仕訳を示しなさい。なお、信販会社への手数料は販売代金の4%であり、代金の入金時に計上する。
   （1）商品¥180,000をクレジット払いの条件で顧客に販売した。
   （2）（1）の代金について、信販会社から手数料を差し引いた金額が当社の当座預金口座に振り込まれた。

6. 当社は、商品¥400,000（税抜）をクレジット払いの条件で顧客に販売した。消費税率は10%であり、税抜方式で処理する。信販会社への手数料は消費税込みの販売代金の2%であり、販売時に計上する。なお、手数料にかかる消費税は考慮しないこと。この取引の仕訳を示しなさい。

7. 当社は、商品（原価¥210,000）を¥300,000でクレジット払いの条件で顧客に販売した。信販会社への手数料は販売代金の2%であり、販売時に計上する。なお、当社は商品売買を販売のつど売上原価勘定に振り替える方法で記帳している。売上の計上と売上原価への振替を、1つの仕訳にまとめて示しなさい。

簿記3級の**無料テキスト＆問題集**の入手方法はこちら→

8. 当社は、得意先A社に商品¥600,000を販売した。代金のうち¥100,000は現金で受け取り、¥200,000はA社のクレジットカードで決済された。残額は掛けとした。信販会社への手数料はクレジット払いの金額の3%であり、販売時に計上する。この取引の仕訳を示しなさい。